茨城産業人クラブ

50周年へ会員増強

概　要

◇1964年（昭39）4月7日設立　会員数157人
◇事務局所在地 ＝ 水戸市宮町2の3の2、富士ビル
（日刊工業新聞社茨城支局内）
◇電話 ＝ 029・221・6400

3年以内 200会員目指す

茨城産業人クラブ（高橋日出男会長＝協立製作所社長）は、7月11日に水戸市の三の丸ホテルで2013年度（第50回）の定時総会を開催した。総会終了後に記念講演会を開催し、日本環境認証機構（東京都港区、JACO）の下井泰典前社長を招き、環境認証を取得する利点と意義についてご講演いただいた。また、茨城産業人クラブ会員でもある泉商事（水戸市）の坂井宏充会長には、いち早くグローバル時代に対応し成功している海外事業の成長戦略とそのポイントについてご講演いただいた。当日の様子を抄録として紹介する。

定時総会・記念講演会

日本環境認証機構 前社長　下井 泰典 氏

環境認証取得　社外負荷軽減で社会貢献

私は「環境」「品質」「情報セキュリティ」などのISO（国際標準化機構）のマネジメントシステムを審査する日本環境認証機構（JACO）に2013年6月までいました。今日は環境マネジメントシステム（EMS）「ISO14001」の認証取得の利点と意義についてお話したいと思います。

まず、1996年9月に発行されたISO14001制定の経緯について簡単におさらいします。発端は92年6月に開催された「環境と開発のための国連会議（国連環境開発会議）」にあります。「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言（リオ宣言）や行動計画「アジェンダ21」が出されたのが大きなきっかけになっています。

次に全国のEMS取得状況を産業別にみたいと思います。日本適合性認定協会（JAB）の13年6月のデータでは総件数1万9298件のうち、建設が19・2％と最多で、18・6％の基礎金属・加工金属製品が次に続きます。都道府県別では茨城県は2・1％で全国14位で、取得している組織が比較的多い県と言えます。

それではマネジメントシステム（MS）とは何かについて一緒にご確認しましょう。MSとは、方針や目標を定め、その目標を達成するために組織を適切に指揮・管理するための仕組みです。組織の良い仕組みから、一般消費者や取引先が期待する製品やサービスが得られるという考え方を基に、良い仕組みを実現するために求められる事項を規定したものがマネジメントシステム規格です。その対象の違いによって、「環境」など約20種類あります。

EMSに認証されると、一般消費者や取引先から信頼感を得られ、組織自身にとっては組織の信頼性をアピールできます。上手にEMS活動を展開している組織の特長としては、①意義・狙いを正しく認識②必要性・重要性の教育を毎年実施③全員活動④明確な役割⑤新鮮味のある目標⑥事業目標と一体⑦効果・成果の透明性⑧熱心な改善活動⑨確実な引き継ぎ・世代交代⑩トップの高い関与・関心―が挙げられます。

さて、それでは今後、EMSをどう活用していけばよいのでしょうか。それはいかに経営に組み込むかにあると思います。社内負荷軽減だけを求めるのではなく、環境に配慮した製品を世の中に提供することで事業を拡大し、社外負荷軽減で社会貢献もできる。つまり、環境と経営で同時に満足感を得られるように活用することだと思います。

最後にEMSの2015年全面改定についてですが、MS間での不整合や実効性の欠如、経営との遊離が見られたことから、これらを改善することが目的です。企業の皆さんには改定内容を先取りして把握し、既に取得されている企業の方も、これから取得をお考えの企業の方も、認証取得に向けて準備してもらえればと思います。

サカイグループ 泉商事 会長　坂井 宏充 氏

海外事業の成長戦略　グループで「毎日決算」

当グループは国内2法人3事業所と中国・上海の2法人からなるグループ企業です。各法人・事業所の特色を生かし、金属加工、プラスチック射出成形加工、ステンレス特殊加工などを行っています。1945年に事業を興し、55年に旧泉製作所（茨城県日立市）を設立。その後、同那珂市と同筑西市にも生産工場を設立しました。73年に立ち上げた泉商事（水戸市）は、グループ会社に資本を投下する中核企業であり、また、住宅設備機器、プラスチック、鉄、ステンレス加工品などを扱う専門商社でもあります。

海外事業はふとしたことがきっかけで始まりました。大学卒業後、高校の英語教員をしていた私を経営者の父が呼び戻してから4年後の95年35歳の時でした。取引先から「中国に進出するので一緒に来て部品を供給してほしい」と言われ、父と上海に視察に行きました。「96年10月に事業を開始するので、それまでに工場を稼働して部品を供給してほしい」という取引先の要求を父が受け入れ、10カ月程度で供給体制を整えました。

ところが、稼働して約半年後、取引先の生産品の売り上げが伸びず、売れても資金回収できない事態が起き、受注がほとんど来ない状況が続きました。新規を獲得しようと、日本と中国であらゆるメーカーを歩き回りましたが、簡単ではありませんでした。そこで、生産計画、品質・資材・財務管理を見直し、現場で毎日日報を付けさせ、毎日損益がわかる体制に改めました。これは現在でも継続しており、今ではグループ全体が「毎日決算」を実行しています。

02年6月には全ての累損を解消し、危機を脱しましたが、現地企業との価格競争が新たな問題になりました。単品加工からユニットや完成品へ生産を移行することで解決し、08年頃に起きた中国の人件費の上昇にも合理化設備を導入し、乗り越えてきました。また、ここ数年、中国では国策として社会保障体制の整備を進めています。このため日本企業では考えられませんが、現地企業は従業員にかかる経費を納入品に転嫁する動きが見られることから、現地企業との競争に負けない堅固な体制を構築しつつあります。今後は「チャイナプラスワン」を視野に、東南アジアでも工場を建設できないかと経営トップとして状況把握に努めています。

特集・挑戦する日本の経営者たち

会長インタビュー

若手の組織作り 異業種交流

高橋 日出男 氏
（協立製作所社長）

―会長に就任して1年がたちました。

「茨城産業人クラブは、県内の製造業、金融機関、大手企業の工場、支社・支店など会員数は150を超えます。名誉会長は橋本昌茨城県知事で、茨城県商工労働部長や筑波大学、茨城大学などが参与として参加しています。講演会や意見交換会、工場見学などの活動を通じて、会員相互の交流、経営強化などを促しています。産業人クラブを軸に、それぞれの立場で情報交換し、経営の質を高めあうことが原点と考えており、この1年は応援してくださる方も多く非常にやりやすかった」

―2年目の抱負は。

「茨城産業人クラブは昭和39年4月7日にいわき地区を含む『常磐工業人クラブ』としてスタートし、来年50周年を迎えます。今後は過去の遺産だけではない新しい目標が必要です。明確な目標として3年以内に会員数を200にするため、組織を作るなど具体的な活動をしていきたい。一方、茨城県には茨城県経営者協会、商工会連合会や商工会議所連合会、中小企業団体中央会など経済4団体があり、こうした団体と産業人クラブをどう差別化していくかが重要な課題です。産業人クラブの特徴の一つとして行政とのパイプの太さがあげられます。こうした人脈づくりを差別化ポイントとして、経済4団体プラス産業人クラブという立ち位置を確立できれば、会員の裾野も広がっていくと思います」

―次世代への布石をどう考えていますか。

「2代目、3代目などの若手は、親が社長や会長のケースが多く、仕事で悩みを抱えても相談する相手がいません。このため孤立しやすく、孤立は判断を狂わす元凶となりえます。悩みを共有しあえる知り合いを作るという意味で、若手を中心とした異業種交流は意味があると思います。しかし経営者協会にも50歳を定年とした青年経営研究会があるため、産業人クラブでの活動は差別化が重要となってきます。まずは核となる若手を集めて準備委員会を作り、若手の組織をどう作っていくのか1年かけて検討していきたい」

「また後継者が娘さんというケースも散見されるようになってきました。日本企業はまだまだ男性中心で、中小企業はなおさらといえるでしょう。産業人クラブも男性が多く、若い女性は参加しにくい部分が大きいと思います。こうした次世代の女性経営者向けに、何ができるのか考えていく必要があると思います。これからは理事会を積極的に開き、会員増強策や若手、女性経営者向けの方策をみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。産業人クラブのさらなる活性化が会員企業の経営・事業に大きな刺激を与え、希望につながればと思っています」

茨城産業人クラブ　会長 高橋 日出男
茨城産業人クラブ第50回定時総会・講演会
主な事業活動
■講演会・研究会の開催
■産学官交流会の開催
■工場見学会の開催
■ゴルフ大会の開催
新規会員募集中！
お問い合わせ　茨城産業人クラブ事務局　〒310-0015　水戸市宮町2-3-2（日刊工業新聞社茨城支局内）
TEL029-221-6400　FAX029-221-6416

熱と計測のシステムエンジニアリング
Nimblox
助川電気工業株式会社
代表取締役 百目鬼 孝一
茨城県高萩市上手綱3333-23
☎0293-23-6411　Fax 0293-22-2909
E-mail webadmin@net-sukegawa.com

ISUZU
日本の物流を支えるいすゞのトラック。
明日を拓く原動力になる。これからの物流の担となる。
輸動効率の向上を目指して、確かな信頼を運ぶ。
いすゞトラックシリーズ。
日本の物流を支え、豊かな未来を創造します。
GIGA FORWARD ELF
茨城いすゞ自動車株式会社
〒310-0063　茨城県水戸市五軒町1丁目2番5号
Tel 029-225-1211　Fax 029-225-1733

いばらきの優良企業 IBARAKI
〔茨　城〕一般貨物運送
国際ロジテック株式会社
代表取締役CEO 篠田 實
〒305-0861　茨城県つくば市谷田部1600-1
TEL.029(839)2100　FAX.029(839)3502
URL：http://www.ilc-log.co.jp

「挑戦」と「創造」の
油圧機器製造専門メーカー
協立製作所のこだわり
コントロールバルブ用スプール
小型建機用ポンプ ASSY
試作から量産までのお手伝いについて
高精度油圧機器の一貫生産
油圧バルブ
油圧部品
詳しくは、ホームページをご覧下さい。
株式会社 協立製作所
茨城工場 〒309-1105 茨城県筑西市三郷1239　TEL.0296-57-6151(代)　FAX.0296-57-9842
ISO 9001:2000 JQA-QM5525 茨城工場

もっと近くに
産地がいきいき、を目指して。
IBARAKI
全農 JA全農いばらき
TEL:029-219-1113　全農いばらき　検索

まったく新しい自動化テクノロジーの概念を創造する。
今までの不可能を、「可能」へ。困難な手作業を、「自動化」へ。
〈グリス付Oリング用パーツフィーダー〉
製品特長
●グリス、シリコンオイル等を塗布した状態での1個出しが可能。
●ホッパーには、大量投入(1,000～2,000個以上)が可能で、長時間の安定供給が可能。
●ホッパーは、残量が目視出来る透明ケースとなっている。
●部品供給スピードは、60～100個/分と、高速使用も可能。
●ホッパー、1個分離部、直進フィーダーが一体化され非常にコンパクト。
●対象のOリングは、φ3～30まで、3機種により様々なニーズに対応。
●特許出願中。
独自の技術で未来を拓く　株式会社 TMP（ティー・エム・ピー）
〒319-1234　茨城県日立市大和田町645番地
産業ロボット・計測システム・パーツフィーダー・自動ドア
お問い合わせ　TEL.0294-52-6981（代）　FAX.0294-52-3640
E-mail：info@tmp-jp.com
詳しくは➡http://www.tmp-jp.com/